

中部歴史まちづくりに関する共同声明

我が中部地方のまちには、城や神社、仏閣など歴史上価値の高い建造物や城下町、宿場町などの歴史的なまちなみが残されており、そこで祭礼行事や工芸品の製造など、歴史と伝統を反映した人々の生活が営まれています。

私たち八市一町は、本日、国宝犬山城を望む犬山において、歴史・文化を活かした観光地域づくりや防災の取組について意見を交換し、少子高齢化社会が進展していく中、歴史まちづくりは、地域の活力を創出する源として期待できることを改めて認識しました。

さらに私たちは、

- 国内外の観光客誘致の強化を図るための周辺地域の観光資源を含めた広域観光周遊ルートの形成
- 歴史まちづくりを推進する上で防災及び災害から復旧・復興するための情報共有や相互支援などの仕組みづくりの構築

に向けて一層の連携・協力のもと、具体的な取組を進めていくことを共通の認識とすることができました。

私たちは、今後とも全国における歴史まちづくりの旗振り役として、歴史をテーマとして地域の個性を一層磨いていくとともに、観光振興と安全・安心が両立したまちづくりをリードしてまいります。

平成 27 年 2 月 3 日

中部歴史まちづくりサミット参加者一同
(高山市、亀山市、犬山市、恵那市、美濃市、
明和町、岐阜市、郡上市、名古屋市)